

**対象国の条件:** 資源外交上重要な資源保有途上国：資源の絆対象国

**研修コース番号:** 201984960-J002

**案件番号:** 201984960

**主分野課題:** 資源・エネルギー/鉱業

**副分野課題:**

**使用言語:** 英語

**案件概要**

資源保有途上国の高位官僚・教官を招聘し、JICAが資源分野で実施する「資源の絆」プログラムを紹介すると共に、本邦の資源政策や、資源関連企業・教育現場を紹介することで、日本関係機関・会社とのネットワークを構築することを図る。

目標/成果	対象組織/人材	
<p><b>【案件目標】</b> 「資源の絆」プログラム対象国の管理職に資源の絆への理解を深めてもらい、制度の実行内容の向上を目指すと共に、日本の鉱業分野に関する理解を深め、日本関係機関・会社とのネットワーク構築を目標とする。</p> <p><b>【成果】</b> ①「資源の絆」プログラムが正しく理解される。 ②今後の「資源の絆」プログラムにおける的確な候補者選定が可能となる。 ③帰国後研修員の活用の向上が図れるようになる。 ④日本の鉱業分野に関する理解が深まり、日本関係機関・会社とのネットワーク構築が図れる。</p>	<p><b>【対象組織】</b> 鉱物資源関連省庁、大学機関等</p> <p><b>【対象人材】</b> (1) 政府機関およびそれに準ずる機関で、資源政策を立案、実施する行政官の管理職。 (2) 大学卒業もしくは同等の資格を持つ35歳以上60歳未満の者でかつ、十分な英語能力を有するもの。 (3) 政府機関およびそれに準ずる機関で、10年以上の職務経験があるもの。</p>	
<p><b>内容</b></p> <p>①関係政府機関、②民間企業、③製錬所、④鉱山機械の製造現場、⑤鉱害対策現場、⑥資源系大学研究室などを訪問、意見交換し、日本産業と技術、教育・研究現場の理解を深める。</p>	<p><b>本邦研修期間</b></p>	<p>2019/11/1～2019/11/20</p>
	<p><b>担当課題部</b></p>	<p>産業開発・公共政策部</p>
	<p><b>所管国内機関</b></p>	<p>JICA東京（産業公共）</p>
	<p><b>関係省庁</b></p>	
	<p><b>実施年度</b></p>	<p>2018～2020</p>
<p><b>主要協力機関</b></p>	<p>経産省、JOGMEC、鉱山会社、製錬所、鉱山機械製作所、鉱害対策関連施設、等</p>	
<p><b>特記事項及びホームページ</b></p>		